

大学コンソーシアムやまがた第1回教育連携部会議事録

| | |
|-----|---|
| 日 時 | 平成18年6月26日 (月) 14:00～16:00 |
| 場 所 | 山形県立保健医療大学 2F201会議室 |
| 出席者 | 部 会 長 松田 幹夫 県立保健医療大学 副部会長 中村 三春 山形大学人文学部教授 委 員 玉手 英利 山形大学理学部教授 委 員 池野 尚美 山形大学入試課企画公報係長 委 員 宇野 久 山形大学教務課教育企画係長 委 員 鈴木 理恵 東北芸術工科大学教務課主事 委 員 齋藤富実子 東北公益文科大学教務課係長 委 員 横沢 雅弘 県立米沢女子短期大学教務学生係長 委 員 阿部 裕美 山形短期大学助教授 委 員 田中ふみ子 羽陽学園短期大学図書館長・教授 委 員 濱田 尚吾 羽陽学園短期大学講師 委 員 戸嶋 茂郎 鶴岡工業高等専門学校物質工学科助教授 委 員 江口 裕之 鶴岡工業高等専門学校企画・連携係長 委 員 高井 伸一 放送大学山形学習センター教務主任 県進連事務局 横田 純一 県立山形北高等学校進路指導主事 総務運営委員会 栗山 恭直 山形大学理学部助教授 事務局 佐竹 正行 山形大学社会連携課長 事務局 高橋 俊一 山形大学社会連携課課長補佐 事務局 設楽 美穂 山形大学事務補佐員 事務局 佐藤 修 県立保健医療大学教務学生課長 事務局 森谷登喜男 県立保健医療大学教務学生主査 事務局 伊藤 信二 県立保健医療大学教務学生係長 |

協議事項1

(1) 山形県大学ガイダンスセミナーについて

事務局から大学入試センターとの共同事業開催（3年間）の要請を受けた経過と実施要項（案）の説明がなされた。質疑応答後、開催予定について承認された。

山形県進学連絡協議会の事務局（北高：横田先生）から高校生の要望等が示され、検討した結果、模擬授業8クラス分野と担当校が協議され承認された。

模擬授業分野と担当校一覧

- 1：教 育 心 理＝県立米沢女子短期大学（第2候補羽陽学園短期大学）
- 2：国 際 協 力＝東北公益文科大学
- 3：語学（ハングル語）＝山形短期大学
- 4：医 療 福 祉＝県立保健医療大学
- 5：数 字 の 不 思 議＝鶴工専または山形大学
- 6：バイオテクノロジー＝鶴工専または山形大学

7：デザイン工学（都市づくり）＝東北芸術工科大学

8：法律経済（企業倫理）＝山形大学

※ 担当校が対応できない場合などにおいて、山形大学で対応することは可能（デザイン工学を除く）

なお、各授業では、高校生が興味を持つような題名・タイトルをつけてもらうよう講師に依頼する。

確認事項

- ・パンフレットは夏休み前に配布する。
- ・学生相談コーナーは大学ブースと分離して設置する。
- ・講師・学生に謝金等支払い可能。

(2) 単位互換について

①現状と課題

副部長より単位互換・eラーニングの現状について説明。

履修・時間割・交通などの問題点もあるが、ニーズのないところに無理やりではなく、教育を高めていく目的を説明。

eラーニングについては、各校でマニュアル等を熟知すること。

②単位互換の推進

単位互換の推進について、より一層広報に努め、それと平行して改善点を考察し、良案等があれば提出することについて依頼。

重点事項として、後期の受講者を増やすことが合意された。

③eラーニングの推進

eラーニングについては、後期に受講者を出すことについての意見を交換。

実験授業について、平成19年度には、配信を山形大学に加えて、庄内地区＝公益文科大、米沢地区＝米沢女子短期大学でも実施する素案が示され、各校において検討することとされた。

ワーキンググループについては今後検討。

重点事項として、今後利用者を出していくこと。

④質疑等

大学にとってのメリットなどについての質疑がなされた。（非常勤講師に替わる方法としてや、枠を広げて高大連携事業の一環として利用する可能性など）